



平成21年度 第16回 市民環境活動報告会 開催のお知らせ

第16回市民環境活動報告会実行委員会代表 内藤 克利

開催趣旨

この報告会は神奈川県環境科学センター主催で平成6年度第1回目を開催し、昨年度で第15回目の報告会を開催しております。その目的は県内各地で自主的に行っている環境学習活動や環境保全活動などの実践例を発表して頂くもので、口頭発表とパネル発表を設け、発表の場を増やしております。

今回は2010年10月名古屋で開催される生物多様性条約締結国会議(COP10)に話題を合わせた「生物多様性と地球温暖化」の副題を付した内容で行いますが、この副題にこだわることなく、より多くの参加をお願いします。そして多くの参加者との意見交換を通じて、環境活動の環を広げて行きたいと思えます。

実行委員会の構成 変わる

今年度開催する第16回市民環境活動報告会から、実行委員会の構成が変わります。即ち、NPO 法人神奈川県環境学習リーダー会(5名)とNPO 法人かながわ環境カウンセラー協議会(3名)との2団体から選出された実行委員(計8名)で実行委員会を構成します。県環境科学センター及び県環境計画課はオブザーバーとして参画され、県民主体の運営に代わります。そのため、「神奈川県後援」を申請し、認められました。

この運営形式を求められた最大の理由は、当会もNPO 法人を取得し且つ本業務等の運営手段も習得し1人前になったと環境科学センターから評価されたことです。その結果、実行委員会方式になりましたが、実態は資金力のない二つの団体が中心になって運営する形でスタートしました。本来ならば数団体参加により資金面支援を行うグループが参加する形が整えば継続性のある事業となるでしょう。

現状は資金不足の委員会です。従って第16回報告会はゼロベース予算で運営するとして、今後は協

生物多様性と地球温暖化 テーマに基調講演

力団体の参加を求める努力をすることが必要になります。

COP15 に合わせた基調講演

生物多様性条約締結国会議(COP10)に話題を合わせた「生物多様性と地球温暖化」の副題を付した内容で行います。

基調講演の内容は環境科学センターの環境活動テーマ別講座「生態系保全コース」初日の講座と同じです。この講座は4日間コースなので初日の講座受講したことになります。

一度で二つの講師をされる理学博士岩槻邦男様は京都大学理学部教授、東京大学理学部教授を歴任され、専攻は植物分類学です。テーマは「地球温暖化と生物多様性(仮題)」です。

このお話を聞くだけの価値はあると思います。

当会の口頭発表者は水環境部会及び大気環境部会の方々です。内容は楽しみに！

開催日時：平成22年2月27日(土)12時30分～17時10分

開催場所：かながわ県民センター2階ホール(横浜駅西口)

主催：第16回市民環境活動報告会実行委員会



昨年度の市民環境活動報告会



神奈川県環境保全（大気・水・土壌関係）功労者として表彰

本会は「神奈川県環境保全（大気・水・土壌関係）功労者表彰」の表彰団体に選定され、11月6日（金）神奈川県庁でおこなわれた表彰式に齋藤昭一代表理事が出席し、小野義博副知事から表彰を受けました。

同表彰は、今まで各地域県政総合センターが行っていましたが、本年から県知事が表彰を行うように改められました。その、栄えある第1回表彰には、個人1名、日立製作所、日産自動車、富士フイルム等、県内に事業所を持つ企業7社と並んで、NPO法人としては当会ただ1団体が選定されました。

表彰の対象となった功績の概要は以下の通りです。

平成10年より環境科学センター主催の「県民参加モニタリング手法検討委員会」に参画し、大気・水環境分野の調査手法の検討や調査を開始、環境学習のプログラムに活用するなど大気・水環境の保全に関する普及啓発活動や公共的活動に貢献している。「かながわコミュニティカレッジ」で「環境ボランティア養成講座」を開催し、大気・水の環境調査手法や環境活動人材の育成などの普及啓発に努めており、今後の活動の継続・発展が期待できる。



記念写真 - 集合写真



表彰状を持つ齋藤代表理事



「地球環境イベント・アジェンダの日2009」

～低炭素社会かながわの実現に向けて～ に出展

本事業担当理事 吉田 榮一

「アジェンダの日2009」が天候に恵まれた平成21年10月31日（土）～11月1日（日）に横浜市中区の日本大通りで開催され、当会も出展しました。この環境イベントは「地球環境イベント・アジェンダの日2009」実行委員会（神奈川県と2団体、4企業で構成）主催で、環境省・経済産業省と8団体の後援を得て、「'90秋の収穫祭」（主催：（株）テレビ神奈川など）と同時開催され、県の発表では昨年よりやや多い約10万人の来場があり、盛会でした。



エネルギー部会 人力自転車発電で電球いくつ点けられるかな！

当会のブースにも多数の方が来てくださり、グリーン購入の啓発とアンケート実施、人力自転車発電の体験と省エネの大切

さの実感、大気観測結果などのパネル展示などで当会の活動内容とその成果を紹介することができました。



ブースの全景 中央の天秤 グリーン部会 「どっちが重いか！」

また、当会が実施する各種事業に参加したい（大学生）会員になることを考える、あるいは高校の先生から出前教室をお願いできるかななどの問い合わせを数名の方から頂きました。

最後になりましたが、当会の諸先輩や最近入会された方など多数ご来場くださり、励まして下さいまして誠にありがとうございました。また、出展に際し開催準備、当日の搬入出・展示、来訪者への対応等に関係されました皆様にご心よりお礼申し上げます。

小中学校出前授業を3校で実施



エネルギー部会 安藤 紘史

秋以降、出前授業を3校で4回実施しましたので報告します。

神奈川県「新エネルギー・省エネルギー学校派遣授業」

同事業に「実験して考えよう。私たちにできるエコ」として応募し、次の2校で実施しました。

- ・箱根町立湯本小学校で9月に実施。
- ・鎌倉市立富士塚小学校で11月(省エネ中心)と12月(自然エネルギー中心)に実施。

共に、感じ、行動につなげてもらう事に力点を置き、実験やゲームを中心とした授業と家庭での省エネ実践を促す内容のプログラムとしました。その結果、多くの児童が省エネにチャレンジし、その中から楽しみを感じてくれました。また、湯本小学校児童全員から感想文が届き、今後の活動への大きな励みとなりました。

富士塚小学校の古屋先生からは次の感想をいただきました。「いろいろな実験を通して、環境問題を身近に感じる事ができたようです。発電の実験では、電気を作り出すのにいかにエネルギーが必要か、ということが実感できたようで、節電への意識

「実験して考えよう」
「私たちにできるエコ」

も高まりました。授業後には、空き教室の電気を消したり、蛇口の水を止めたりする子どもの姿が増えました。勉強したことを家族にも伝え、取り組みが広がっていけばいいな、と願っています。」

関係者一同、益々頑張ろうと話しました。

かながわアジェンダ推進センター「温暖化防止出前授業」

12月21日に横浜市立境木中学校3年生5クラスに「地球温暖化といま私たちに出来ること」のテーマで行いました。

一堂に会した5クラス186名もの生徒に授業を行うのは初めてでしたが、一部の生徒に実験に参加してもらいつつ、その様子をプロジェクターで映して全員に見せるなど、新しい手法をも取り入れ、所定の成果をあげることができました。

現在の児童生徒は「エコ革命」の最中を生きることになるだけに、今後ともこの面での啓発活動に注力して行きたいと考えます。

最後に、出前授業に度々参加いただいたエネルギー部会を中心とする会員の皆様、湯本小学校でご協力をいただいた小田原市温暖化防止アクショングループの皆様にあらためて御礼申し上げます。



湯本小学校省エネ体験
「電球の違い」



富士塚小学校(1日目)
「違い探し」



富士塚小学校(2日目)地球儀
から自分達の環境を想像



湯本小学校省エネ体験
「電気をおこそう」



富士塚小学校(2日目)自然
エネルギー実験「燃料電池」



境木中学校 5クラスが
一堂に会しての授業

平塚だより

市民が結ぶ森と川と海のつながり

平塚市 柳川 三郎

平塚市の公募に応募して 21 年度の共催講演事業が決定し 12 月 20 日(日)に 101 名が参加して「市民が結ぶ森と川と海のつながり」というテーマでシンポジウムを開催しました。

神奈川県では水源環境保全再生の取り組みと湘南地区においては湘南里川づくり推進が展開中です。いずれも大切な「水」を長く守り抜いていくかを皆さんとともに実践しようとの事業です。

ご存じのように雨が降ると雨は山の木の葉・枝・幹から地下へやわらかいスポンジのような山肌に蓄えられて澤へ谷へ川の上流・中流・下流から海へ流れ、蒸発した水蒸気は雨となり循環して私たちに貴重な恵みを与えてくれます。しかし近年は山肌が荒れて降った雨がすぐに流れでることと雨がやむとす



ぐに流れが止まるようになってきています。みなさんの力で自然な循環を取り戻したいものです。

浜口哲一 前平塚市博物館長、神奈川大学理学部特任教授による講演「森・川・海をつなぐもの」は、以下のような内容でした。

「金目川クイズに」チャレンジ 金目川の水源地の山で一番高い山は？ 一生川でクラス魚はどれ？ 金目川の水が一番汚れていたのはいつ頃？ 一番水が汚れているところにいる生

き物は？ 川に落ちた落ち葉を片付けるのは何？ 金目川流域の様子。上流の緑の森、中流の水田を考える必要性。落ち葉の行方、落ち葉から森川海のつながりを考える。最後に、魚から川の環境を考える流域の都市化とのかかわりを考える。

・パネルディスカッション「森の保全、川の現状と課題、海の変化」

コーディネーター 浜口哲一 パネラー 鈴木盛彦(丹沢山塊の自然を考える会 代表) 小清水四郎(里山をよみがえらせる会 代表) 柳川三郎(金目川水系流域ネットワーク 代表) 峯谷一好(相模川湘南協議会 代表) 原田進(神奈川県環境科学センター 専門員)

・参加者との意見交換では、山が荒れている状況について説明を、大木の根が洗われ土がめくれている様子やシカの害で下草が何もなくなっていることを説明しました。

・アンケートの集約で数名の人から 120%ためになったとの声が出ました。主催の立場で関係者の皆様に感謝いたします。



相模原だより

河川生物研究クラブ

河川生物研究クラブ代表 小林 義博

6 期の小林です。相模原市を中心に平成 20 年 2 月から河川生物研究クラブを結成して活動しています。

このクラブを作った経緯は、相模原市で平成 13 年度から自然環境観察員制度が始まり、部会には野鳥部会、植物部会、河川部会が出来た時に、河川部会のリーダーを引き受けました。その後、平成 18 年度に相模原市立環境情報センター設立とともに、自然環境観察員制度は同センターに移管され、現在

に至っています。

平成 19 年度には小学校から環境情報センターに水質と生き物についての質問や出前授業の依頼が多数来ましたので、市の職員だけでは対応しきれずに河川部会員と一緒に小学校の出前授業に行きました。

市の職員からはサークルを作ってもらえないかとの要望があり、仲間を募り平成 20 年 2 月 24 日に、河川生物研究クラブを発足させ、現在に至っています。現在会員は 10 名です。

サークル結成後の活動として、平成20年は54の事業を実施しました。主なものは相模原市主催夏休み河川自然観察会、小学校の出前授業、公民館、ボーイスカウトからです。平成21年度は52の事業を行いました。小学校からの依頼が増えて7校に出前授業しました。

講座内容の一例として、相模原市立田名小学校では、

- 3年生には「川について」
 - 4年生には「川の生き物と水質」
 - 6年生には「相模川のゴミ問題と水質」
- の授業を行いました。

また、教材の一部は神奈川県大気水質課と神奈川

県環境科学センターから提供して貰いました。

これからも相模原市民の為に水環境事業を努力してつづけていきます。みなさんの暖かい声援をお願いします。



相模原田名小学校での野外講座風景



横浜
港南区だより

歴史に深い横浜市港南区より！！

横浜市 吉田 榮一

横浜市港南区は横浜市の南部に位置し(図1)、人口22万人・面積20km²で横浜18区の中で人口では平均的ですが、人口密度が高いため緑地の割合が比較的少ない方です。それでも山林、田や畑があります。江戸時代には相模国鎌倉郡に属し、1936年(昭和11年)横浜市中区となり、次に1943年(昭和18年)南区に分割され、さらに昭和44年には南区の一部の8町が港南区となり、現在に至っております。住まいの近くには学問の神様菅原道真が自分で刻んだ3つの木造のうちの一体を持つ由緒ある永谷天満宮があります。また、その隣の貞昌院(当時貞昌寺)の寺小屋などから1872年(明治5年)に設立された小学校 棲心庵(永谷学校 永野学校 現永野小学校と名称変更)があります。

地域でのボランティア活動として、最初に登録したのが港南区の制度にある「街の先生」でした。そこでの地球環境・エネルギー資源に関する講座活動が発端で、その後の活動の輪を広げることになりました。また、港南区では民企画運営講座という制度があり、「くらしと環境」の講座を企画・運営しています。これらの活動の中では緑の少ない



港南区でも農家を訪問した地産地消体験や地産野菜を使ったエコクッキングという講座も行いました。



港南区野庭での収穫体験

さらに、横浜市や神奈川県環境関係で活動しておられる諸先輩を先生として、横浜市では温暖化防止活動推進協議会の活動に参加し、港南区と南区在住の神奈川県地球温暖化防止活動推進員の有志7名で組織したりデュース30横浜ミナミ(当会の会員は2名参加)で両区内のエコライフ実践講座を企画・運営し、平成22年度では区内の地区センターやコミュニティハウスの自主事業に5件のエコライフ実践講座開催を予定しています。

行政としての港南区は横浜市の中で地球温暖化対策活動が比較的活発なところですが、横浜市港南区や南区にこれから住まれるご意向の方、是非この区で活動していただければと思います。

街の先生から
エコ活動へ

部会活動



ケナフ部会 部会長 荒谷 輝正

活動予定(平成22年1月~3月)

- ・平成22年2月研修旅行(日時未定)
- ・平成22年3月環境科学センター圃場の畑起こし(日時未定)

対外活動予定

現在予定なし

対外活動結果

10月23日 10:00~12:00 港南区区民企画運営講座「くらしと環境」で牛乳パックを使用した紙すき実施 約30人参加。

10月24日 KERC 環境活動人材講座で「市民団体が実施する環境教育プログラム」で、ケナフ部

会の活動報告を説明 25人参加。

11月8日 9:30~14:30 港南区野庭地区センターふるさとのば「福祉の集い」発表会 環境関係として「牛乳パックをつかった紙すき」実施 約100名が紙すきを体験した。

12月3日 厚木市上荻野小学校2年生3クラス、約100名にケナフ紙すき実施。

12月5日 9:00~16:00 平塚リサイクルセンターくるりん祭りで「ケナフによる紙すき」実施 約60名が体験。

12月17日 横浜市立下野庭小学校のキッズクラブ「牛乳パックによる紙すき」 42名参加。

エネルギー部会 部会長 安藤 紘史

活動予定(平成22年1月~3月)

定例部会(県民サポートセンター、16時~18時)

- 1月13日(水)703号室、
- 2月10日(水)702号室、
- 3月10日(水)703号室

2月13日(土)はまぎんこども宇宙科学館で環境自然教室「ソーラーオルゴールを作ろう」を実施
活動報告(10月~12月)

- ・県「省エネ・新エネ学校派遣授業」事業
11月10日(火)、12月7日(月)鎌倉市立富士塚小学校5年生2クラスに出前授業実施(3面掲載)
- ・アジェンダの日に参加 「自転車で電気をおこそ

う」でエネルギーの大切さを訴えた(2面掲載)
例会報告

- ・10月14日(水)富士塚小学校出前授業打合せ、浅岡美恵著「世界の地球温暖化対策」をもとに情報交換
- ・11月11日(水)富士塚小学校出前授業(2日目)打合せ、深夜電力利用家庭の事例紹介と同料金体系の問題点等につき情報交換
- ・12月9日(水)「神奈川県地球温暖化対策計画」の素案について意見交換、電気乾燥型生ゴミ処理機の環境負荷について報告(試算結果:CO₂排出量は焼却より大きい)

大気環境部会 部会長 猪股 満智子

活動予定

2月27日(土)12:30~17:10 県民センターホール 第16回市民環境活動報告会で口頭・ポスターセッション発表

定例部会 3月13日(土)13:30~16:30 NPOセンター大船

- ・12月度NO₂、SPM・PM_{2.5}測定報告・評価
- ・第16回市民環境活動報告会発表報告
- ・H21年度総括、H22年度活動方針の検討など

活動報告

11月6日 H10年3月よりKERC主催の「県民参加モニタリング手法検討委員会」に参画し、H12年秋、モニタリング部会を立上げ以来(H16年、現大気環境部会に改称)の活動に対し、県から「神奈川県環境保全活動功労者賞」の表彰を頂きました。大勢の結集の賜物です、感謝多々。

11月28日 13:30~16:00 NPOセンター大船定例部会、NO₂測定準備(ろ紙充填)

- ・新入部会員 中澤信子さん
- ・復帰部会員 高尾行一さん

- ・6月度SPM・PM2.5測定報告・評価
 - ・PM2.5の基準値決まる
 - ・国立環境研「環境リスク」、海洋研究開発機構「海洋酸性化」シンポ等の報告、資料配布
- 12月3日夕刻～4日夕刻のNO₂ 24h測定

- 12月13日13:30～16:00 環境科学センター
- ・実習室にてNO₂分析
 - ・NO₂、光化学スモッグ注意報発令の沈静化と丹沢山地におけるオゾンの動態について
 - ・第16回市民環境活動報告会発表の検討

水環境部会

部会長 齋藤 昭一

活動予定

H22年1月～3月原則として活動休みます。

H22年2月27日市民環境活動報告会に於いて水環境部会より古谷敏夫氏が「川の連続性」について活動報告をします。皆さんで応援したいと思います。「当日は全員参加して下さい」宜しくお願いします。

活動報告

H21年11月8日(日)狩川上流の調査をもって

H21年度の活動を終わりました。部会の皆さん一年間有難う御座いました。狩川における調査も順調に消化できて満足しています。

来年度以降の活動に関しては、次号でお知らせ致します。新たな5ヶ年計画も含めて模索中ですので、お待ちくださるようお願いいたします。

グリーン部会

部会長 柳川 三郎

活動予定

1月15日(金)10時40分～12時10分

平塚市立みずほ小学校 「エコな買い物の仕方を学ぼう」参加型紙芝居・疑似かいものゲーム(誕生日ホームパーティのための買い物)・グループ発表、アンケートの集約

2月14日(日)12時30分～2時

相模原市立環境情報センター 公募30名(小・中親子)「エコな買い物の仕方を学ぼう」参加型紙芝居・疑似かいものゲーム(誕生日ホームパーティのための買い物)・グループ発表

活動報告

10月24日(土)12時30分～14時15分、神奈川県環境科学センターにおける環境活動人材育成講

座の講師、テーマ「買い物の仕方ですべてを変えよう」の実施事例にて指導。

10月27日(火)と29日(木)8時50分～12時15分、平塚市立金目小学校。生ゴミから何が出来るか、環境を考える学びを指導。

10月31日、11月1日「アジェンダの日」へグリーン部会にて参加、グリーン購入について市民に対して意識調査を実施。

定例会議 10月24日、11月21日 グリーン購入の指導内容について改善等の会議。



自然環境部会

部会長代行 吉田 榮一

活動予定

1月21日(木)部会開催 かながわ県民センター 703号室 14:30～16:30

2月18日(木)自然観察・野鳥観察会 JR大森駅9時集合 東京港野鳥公園

いずれも部会員以外の方の参加も歓迎

活動報告

10月28日(水)大岡川源流を訪ね、円海山周辺の

自然を観察する会 開催(磯子区環境を考える会との共催) 当会員は11名参加 天気に恵まれ、草木、魚、昆虫、鳥などの自然観察を満喫。磯子区環境を考える会の方々との交流を深めた。

事務局だより

事務局 桑原 清

これからの事業予定（1面掲載以外）

- 2月13日（土）環境自然教室「ソーラーオルゴールを作ろう」はまぎんこども宇宙科学館（主催：横浜市青少年育成協会）
- 2月14日（日）「エコな買い物を学びましょう」相模原市立環境情報センター（グリーン部会）理事会開催予定
- 2月4日（木）、3月11日（木）、4月8日（木）理事会報告
- 10月8日（木）台風の影響で理事会は休会、替わりに運営委員会を開催
- 11月12日（木）市民環境活動報告会の開催日を2月27日とし、実行委員長を内藤副代表とすることを承認
- 12月10日（木）学生会員、家族会員を新設する定款改定案を協議
- 1月14日（木）（会報70号で報告予定）終了した事業
- 10月24日「環境学習指導コース」環境科学センター
- 10月30日、11月1日「地球環境イベント・アジェンダの日2009」（詳細は2面に掲載）
- 11月10日、12月7日「神奈川県新エネ・省エネ学校派遣事業」（詳細は3面に記載）

長村吉洋さんが高津区で表彰

当会会員の長村吉洋さんが、川崎市高津区の「第1回たかつエコ・エネライフコンクール」の個人部門最優秀賞を受賞されました。長村さんは環境教育の実施や環境講座を開催するなどの幅広い活動などの取り組みが高く評価されました。長村さん、受賞おめでとうございます。詳細は http://www.townnews.co.jp/020area_page/2_fri/01_taka/2009_4/12_04/taka_top1.html をご覧ください。

「地球っ子ひろば」が「一村一品・知恵の環づくり」で特別賞

当会会員の齋藤美代子さんが代表を務められている平塚市の「子供と親の環境教室『地球っ子ひろば』」が、子供と親への地球温暖化対策の教育を推進したことが評価され、「ストップ温暖化大作戦かながわ『一村一品・知恵の環づくり』」の選定委員会特別賞

を受賞しました。『地球っ子ひろば』の皆様、受賞おめでとうございます。詳細は <http://news.kana-loco.jp/localnews/article/0912060012/> 参照。

参加ご協力お願いします！（いきものみっけ連携）

気候変動を見守ろう

身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」冬～春の対象；初氷、カントウタンポポ、シロバナタンポポの開花、ウグイスのさえずり、ツバメ、モンシロチョウ、ソメイヨシノの開花、ツクシ、マンサクの開花、ホトケノザの開花、ベニシジミ遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際などに、ほんのちょっと注意をばらうと、毎年の気候変化が手に取るよう。県版マップデータ化します。送り先：大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858 Eメール：km_inmt@ybb.ne.jp

調査のヒント：前年見つけた場所を毎年早めに追っていくのもよいですね。前年度、横浜市久良岐公園、大磯、二宮辺りでは暮れの内からカントウタンポポの開花を確認できました。

2月27日（土）開催の市民環境活動報告会ポスターセッションでお待ちしています。

（環境省主催いきものみっけシートの送付はEメールでは受け付けていません。FAXかホームページ、携帯電話から送れます。当会への重複送付も大歓迎！あくまで当会は神奈川県版を作製しています。）

特定非営利活動法人
 神奈川県環境学習リーダー会 会報 第69号
 発行日：2010年1月18日
 発行者：代表理事 齋藤昭一
 編集人：齋藤昭一広報部長代行、長村吉洋広報部
 〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26
 洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内
 FAX：050-3488-4943
 E-MAIL：npo.k.leader@gmail.com
 URL：<http://npo-k-leader.net/>
 寄付、会費等納入講座：ゆうちょ銀行
 00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会
 不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会
 2010 Printed in Japan